

# フランク・ステラ/ケネス・タイラー 構築する版画

Frank Stella and Kenneth Tyler:  
A Unique 30-Year Collaboration

アーティストとプリンター、30年の軌跡

1998年

4月17日(金) — 5月17日(日)

- 休館日—月曜日(ただし5月4日[月]は開館)、5月6日[水]
- 開館時間—午前9時—午後5時(入室は午後4時30分まで)、初日は午前10時開展  
金曜日は午後7時まで開館(入室は午後6時30分まで)
- 入場料—一般900円(720円) 高・大生600円(480円) 小・中生300円(240円)
- \* ( )内は前売りおよび団体20名様以上の料金 \* 高松市に住所を有する長寿手帳・身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳所持者は無料 \* 第2、第4土曜日は小・中・高生無料

主催—高松市美術館 / 四国新聞社 / 西日本放送

後援—アメリカ大使館

協賛—大日本印刷

協力—日本航空

企画協力—タイラー・グラフィックス / ウォーカー・アート・センター



Frank Stella, Stranz © Frank Stella/Tyler Graphics Ltd./ARS, New York/SPDA, Tokyo, 1998

高松市美術館  
Takamatsu City Museum of Art

高松市紺屋町10-4 TEL.087-823-1711



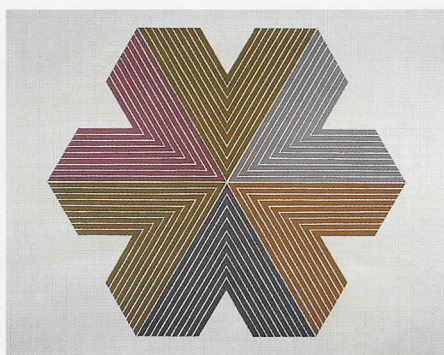
# フランク・ステラ/ケネス・タイラー 構築する版画

Frank Stella and Kenneth Tyler:  
A Unique 30-Year Collaboration

アーティストとプリンター、30年の軌跡

現代を代表するアーティストのひとり、フランク・ステラ。彼の作品は、ストライプを描いた初期の禁欲的な抽象絵画から、過剰なまでの色彩と形態が氾濫する近年の仕事まで、華麗な変貌を遂げながら、絵画、彫刻、建築といったさまざまな領域を横断してきました。なかでも版画は、その制作プロセスが他のすべての作品に影響を及ぼしているという点で、ステラ芸術にとってなくてはならない存在です。そしてこれを技術的に支えてきたのが、刷り師ケネス・タイラーでした。1967年に始まる二人の共同制作は、今日まで多くの革新的な作品を生みだし、今もなお数々の新しいプロジェクトに挑戦しつづけています。本展は、30年以上にもわたるステラとタイラーの共同制作から代表的なプロジェクトを紹介し、その歩みを検証するとともに、最新シリーズ〈イマジナリー・プレイシズ〉(1995-1997)の試刷り、版、コラージュなどの資料を展示し、ステラの驚きに満ちた版画制作の秘密に迫ります。

Photo: ©Marabeth Cohen-Tyler



1



4

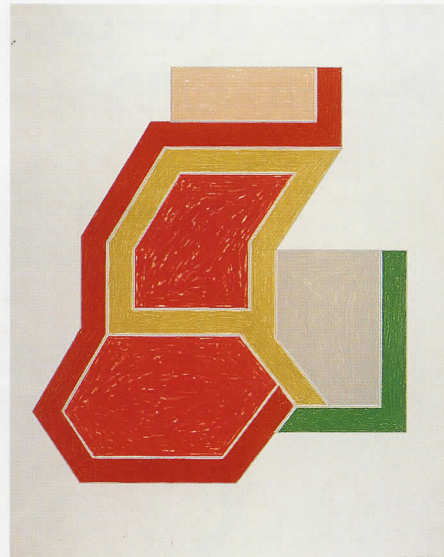


6

©Frank Stella/Gemini G. E. L./ARS, New York /SPDA, Tokyo, 1998 (1, 2)

©Frank Stella/Tyler Graphics Ltd./ARS, New York /SPDA, Tokyo, 1998 (3-6)

2



3



5



- 1 ペルシャの星 I (ペルシャの星シリーズより) 1967年  
リトグラフ
- 2 サナビー(不整多角形より) 1974年  
リトグラフ、スクリーンプリント
- 3 ペルギーサ・スリー(サーキット・シリーズより) 1983年  
レリーフプリント、木版
- 4 スワン・エンブレイヴィングⅢ(スワン・エンブレイヴィング・シリーズより) 1982年 エッチング、レリーフプリント
- 5 スタッブとフラスクとがせみ鯨を屠る(白鯨ドーム) 1992年  
混合技法
- 6 ジュアム(イマジナリー・プレイシズより) 1997年 混合技法

## ●記念講演会のお知らせ

「フランク・ステラ 人と作品について」

講師: 広本伸幸(川村記念美術館学芸課長)

とき: 4月26日[日] 午後1時30分から

ところ: 美術館1階講堂

入場無料、先着200名様

## ●常設展示のご案内

4月4日[土]—5月17日[日] 「木村忠太の世界」「花鳥文様の漆芸」

## ●次回展覧会のお知らせ

5月29日[金]—6月28日[日] 「ポナノッテとテ・ミリオ二人展」

## ●ミュージアム・ライブのご案内

5月16日[土] フォルクハルト・シュイトイテ(ヴァイオリン)&ローランド・パティック(ピアノ)